

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：教育費 項：教育総務費 目：教育指導費

事業名 幼児教育総合推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会 義務教育課 小中総合支援係 電話番号：058-272-1111(内8595)

E-mail : c17785@pref.gifu.lg.jp

1 事 業 費

245 千円 (前年度予算額：

1,756 千円)

<財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 産 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,756	0	0	0	0	0	0	0	1,756
要求額	245	0	0	0	0	0	0	0	245
決定額	245	0	0	0	0	0	0	0	245

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

岐阜県幼児教育アクションプランの検証を進めることにより、幼児教育の課題を解決する。また、岐阜県幼児教育センター設置に向けた検討委員会を開催し、県内の幼児教育の水準の維持向上を図る。

(2) 事業内容

・幼児教育推進会議の開催

※令和8年度は、岐阜県での幼児教育センター設置に向けた検討委員会を兼ねる。

大学教授、公立幼稚園・認定こども園長、私立幼稚園・認定こども園・保育園長、小学校長、岐阜県PTA会長、NPO法人代表、市町村教委・福祉部局担当者、発達障害者支援センター課長及び県関係部局（岐阜県幼児教育チーム）より構成する会議を、年4回開催し、幼児教育センター設置に向けた協議を行う。

・他県幼児教育センターの視察

・研究団体への支援訪問

(3) 県負担・補助率の考え方

県負担10／10

(4) 類似事業の有無

無し

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	48	幼児教育推進会議報償費
旅費	197	幼児教育推進会議旅費、研究団体への支援訪問旅費、視察旅費
合計	245	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・第4次岐阜県教育振興基本計画
施策I 「豊かな人間性」の育成
6 人格形成の基礎を培う幼児教育の充実

事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

(事業目標)

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

幼児教育推進事業開始時からの指標である「幼保小の連携における教育課程の編成、指導の工夫をした小学校の割合」が、令和5年度に92.9%、令和6年度に96.2%となったことを受けて、第4次岐阜県教育振興基本計画策定（令和6年度実施）に合わせ、指標を以下のように改める。今後、各年度5ポイントずつの上昇を目指す。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (H26)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R11)	達成率
①幼児教育施設の教職員、保育士等との合同研修を実施した小学校の割合	-	66.2%	70.0%	70.0%	90.0%	100.0%

(これまでの取組内容と成果)

令和4年度	(1) 幼児教育推進会議の開催（全2回） 国の「幼保小の架け橋プログラムに関する調査研究事業」を受託し、「つなぐ・高める・支える」幼児教育の推進のための組織を整え、事業内容の具体と3年間の見通しを明らかにした。 (2) 公私立共同研究の委託 中津川市立中津川幼稚園、大垣市立青墓保育園、聖心学園のぞみ第2幼稚園、総純寺学園清流みづほ認定こども園を指定し、研究を支援した。
	指標① 目標：- % 実績：- % 達成率：- %
令和5年度	(1) 幼児教育推進会議の開催（全2回） 幼保小の架け橋プログラムとして、①組織体制・会議設置モデルの開発、②接続期カリキュラムの開発、③保育・教育内容の相互理解を図る研修プログラムの開発、④子供同士の園・学校交流を位置付けた指導計画の開発に取り組んだ。 (2) 公私立共同研究の委託 郡上市立はちまん幼稚園、多治見市立養正小学校附属幼稚園、加納学園こばと第3幼稚園、天使学園天使幼稚園を指定し、研究を支援した。
	指標① 目標：- 実績：- 達成率：-
令和6年度	(1) 幼児教育推進会議の開催（全2回） 幼保小の架け橋プログラムとして、⑤認識と取組の社会的共有を目指す発信プログラムの開発に取り組んだ。 (2) 公私立共同研究の委託 本巣市立糸貫西幼稚園、土岐市立駄知小学校附属幼稚園、川合学園かわい幼稚園、浄性寺学園まどか幼稚園を指定し、研究を支援した。
	指標① 目標：65.0% 実績：66.2% 達成率：100.0%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価) 3	第4次岐阜県教育振興基本計画（令和6年度実施）の方針と「幼保小の架け橋プログラムに関する調査研究事業」（文部科学省：令和4～6年度）の成果を踏まえ改訂した、岐阜県幼児教育アクションプランに示した施策を具現するため、幼保小の架け橋プログラムを推進し、検証を進める必要がある。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)	3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない
(評価) 2	研究団体が主催する会議や県研修講座等の機会を捉え、アクションプランに基づいた研修を実施し、「幼保小の架け橋プログラムに関する調査研究事業」の取組を紹介することで、成果の周知を図っている。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)	2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている
(評価) 2	義務教育課、子育て支援課、私学振興・青少年課、県民生活科課、教育研修課、特別支援教育課からなる「岐阜県幼児教育チーム」により、施策を共有し、施設類型、公私立を問わず一貫した指導、支援を行っている。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

- ①幼児教育と小学校教育とをつなぐ取組の強化
- ②遊びを通した指導の充実と保育内容の評価・改善サイクルの構築
- ③多様な幼児への支援の充実、家庭教育・子育て支援体制の整備

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

「幼保小の架け橋プログラムに関する調査研究事業」（文部科学省：令和4～6年度）の成果を広げ、改訂した幼児教育アクションプランの具現を進める。岐阜県幼児教育センターの設置について検討する。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	